禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B43

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
１級 かわらぶき 学科試験問題
(かわらぶき作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　振れ隅屋根の場合、隅棟を介して隣り合う屋根面(平と小平)の勾配は、同じである。

2　軒の出寸法とは、一般に、軒桁の中心線(柱心)から軒先の広小舞又は鼻隠しの前面までの水平寸法をいう。

3　屋根の勾配伸び率は、4寸勾配の場合、水平に対して1.057である。

4　下葺き材の柿(こけら)板には、上下方向の区別がある。

5　土居葺きは、アスファルトルーフィングと比べて通気性が悪い。

6　スギ皮で葺かれた屋根は、ひわだ葺き屋根である。

7　茅(かや)葺き屋根は、草葺きの一種である。

8　摺(す)り石は、瓦の切り小口の凹凸を無くすためや、目欠けを起こさないように面を取るために使用する。

9　瓦葺きに用いるたがねは、一般に、両刃である。

10　大型鬼瓦用の緊結金具及び補強金物の寸法は、原寸図で正確な長さや太さを確認して選定する。

11　社寺建築において、陸(ろく)棟(大棟)に鬼瓦を据える場合、鬼瓦の傾きは、一般に、利根丸(刀根丸)の線に合わせる。

12　すがもり(すがもれ)とは、屋根のすがる部分から雨水が入る雨漏り現象をいう。

13　袖瓦の袖垂れの角度は、一般に、のさ、かね及びかぎの順で使用するのがよい。

14　工程表の種類には、横線工程表、ネットワーク工程表などがある。

15　小さい門の屋根に瓦上げを行う場合は、一般に、屋根の片側に瓦を全部上げないようにする。

16　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く)、張り出し足場、高さが5m以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の際には、作業主任者を置くことが義務づけられている。

17　ブラケット一側足場は、支柱足場の一種である。

［A群（真偽法）］

18　#19の銅線の径は、#18の銅線の径よりも細い。

19　日本産業規格(JIS)によれば、プレスセメント瓦の形状は、和形とされている。

20　モルタルの強度は、調合における水の量に影響されない。

21　真壁式は、柱が壁面に現れない構造である。

22　瓦は、建築基準法関係法令における不燃材料に含まれる。

23　図面において、実寸法での1mが50mmに描かれている場合、この図面の縮尺は、1：20である。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、つり足場の上で、脚立、はしご等を用いて労働者に作業させてはならないと規定されている。

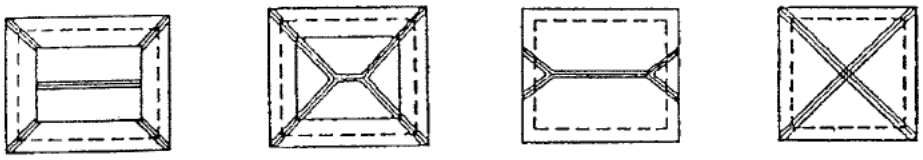
25　労働安全衛生法関係法令によれば、架設通路の勾配は、原則として、35度以下としなければならないと規定されている。

［B群（多肢択一法）］

1　陸棟(大棟)が梁間の中心に位置する場合、梁間が5.4mで棟の高さが2.7mの屋根の平勾配として、適切なものはどれか。

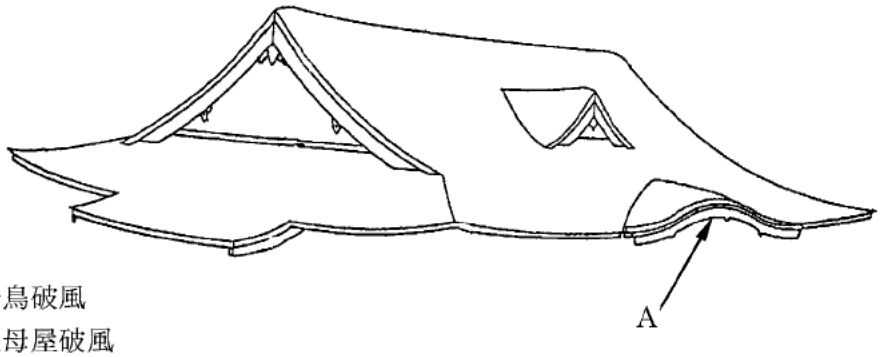
イ　35度
ロ　40度
ハ　45度
ニ　50度

2　屋根伏図とその名称との組合せとして、適切でないものはどれか。



しころ屋根　イ　　八注屋根　ロ　　半切妻屋根　ハ　　方形屋根　ニ

3　次図のAが示す破風の名称として、適切なものはどれか。



イ　千鳥破風
ロ　入母屋破風
ハ　唐破風
ニ　縋破風

4　瓦屋根標準設計・施工ガイドラインによれば、粘土瓦葺き屋根の野地として構造用合板を用いる場合、標準とされる厚さはどれか。

イ　9mm
ロ　12mm
ハ　15mm
ニ　18mm

［B群（多肢択一法）］

5　屋根下地構造と横桟木留付け手段の組合せとして、適切でないものはどれか。

	屋根下地構造	横桟木留付け手段
イ	パーライト系モルタル下地	木下地用の釘
ロ	モルタル下地	コンクリート釘
ハ	硬質木片セメントパネル下地	コンクリート釘
ニ	コンクリート打ち放し流し桟木下地	木下地用の釘

6　一般に、柿（こけら）葺きに適していないものはどれか。

イ　サクラ
ロ　ヒバ
ハ　スギ
ニ　サワラ

7　屋根葺き材に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　プレスセメント瓦の主原料は、セメント、細骨材などである。
ロ　住宅屋根用化粧スレートは、平形である。
ハ　天然スレートの葺き方には、折板葺きがある。
ニ　プラスチック波板には、金網入り塩化ビニル波板、強化ポリエステル波板などがある。

8　定規類の使用に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　のさ・かぎ測定定規は、掛巴瓦や軒巴瓦等の鏡部分の角度を調べるのに使用する。
ロ　曲矩（くせがね）は、角度がある部分の形を写すのに使用する。
ハ　勾配定規は、平瓦等の谷の深さを測定するのに使用する。
ニ　反り測定定規は、反りがある屋根の各部の反りを計測するのに使用する。

9　大矩（おおがね）の各辺の比率として、適切なものはどれか。

イ　1：2：3
ロ　2：3：4
ハ　3：4：5
ニ　4：5：6

10　瓦の割付けに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　瓦の割付けは、瓦の葺き幅寸法及び葺き足寸法を基準として行う。
ロ　桟瓦の葺き幅寸法は、使用する桟瓦のうち、幅寸法が一番小さいものを基準とする。
ハ　さし葺き工法では、桟瓦の桟側面を割付けの墨とする。
ニ　かぶせ葺き工法では、桟瓦の差込み側面を割付けの墨とする。

［B群（多肢択一法）］

11　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

一般住宅の瓦屋根工事の積算に必要なものは、平面図、立面図、矩計(かなばかり)図、屋根伏図及び(　　)である。

イ　展開図
ロ　特記仕様書
ハ　軸組図
ニ　床伏図

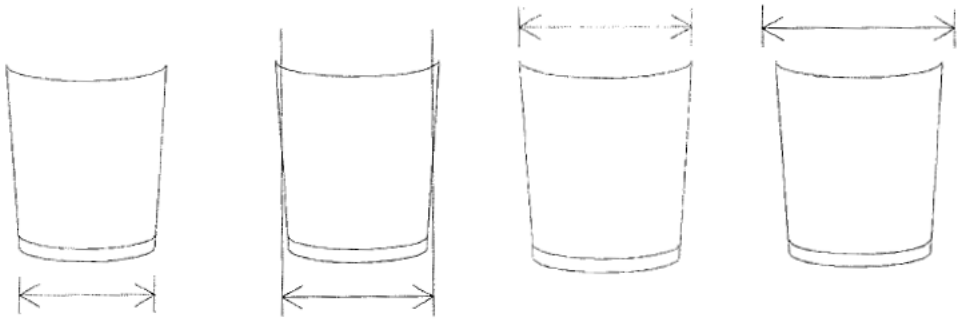
12　南蛮漆喰(しっくい)を用いるときに必要な特性について、適切でないものはどれか。

イ　凍害を考慮する必要がないこと。
ロ　乾燥による収縮が少ないこと。
ハ　水を含んでも溶け崩れにくいこと。
ニ　粘着性、腰の強さがあって施工しやすいこと。

13　甍(いらか)瓦の納まり勾配として、最も適切なものはどれか。

イ　2／10
ロ　4／10
ハ　6／10
ニ　8／10

14　本瓦葺きの平瓦の割付けにおける瓦葺き幅として、適切なものはどれか。

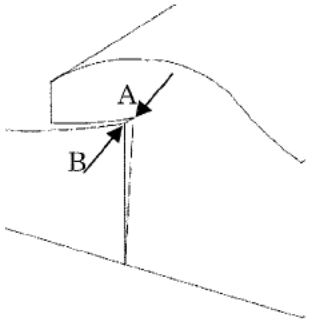


頭幅　イ　　(頭幅＋尻幅)÷2　ロ　　尻幅　ハ　　尻幅＋9mm　ニ

［B群（多肢択一法）］

15　一文字軒瓦の雀口(A)と差込み切り口(B)との寸法として、最も望ましいものはどれか。

イ　10mm
ロ　 8mm
ハ　 6mm
ニ　 2mm



16　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、原則として、鋼管の単管足場における建地間の積載荷重は、(　　)kgを限度とすることと規定されている。

イ　300
ロ　400
ハ　500
ニ　600

17　日本産業規格(JIS)における粘土がわらに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　製法による区分としては、ゆう薬がわら、いぶしがわら及び無ゆうがわらの3種類がある。
ロ　いぶしがわらの吸水率は、15%以下である。
ハ　S形瓦の寸法による区分は、49A及び49Bの2種類である。
ニ　塩焼がわらは、無ゆうがわらに含まれる。

18　本葺き工法で使用しない瓦はどれか。

イ　平唐草(ひらからくさ)軒瓦
ロ　鎌軒瓦
ハ　素丸瓦
ニ　二の平瓦

19　日本産業規格(JIS)によれば、粘土がわらの曲げ試験を行う場合の試験体の状態として、適切なものはどれか。

イ　窯から焼き上がった直後の状態
ロ　成型後、完全に乾燥した状態
ハ　成型直後の状態
ニ　気乾状態

［B群（多肢択一法）］

20　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

(　　)とは、コンクリートブロック、れんが、石などの小さな部材を積み重ねて造る建築構造をいう。

イ　組立式構造
ロ　一体式構造
ハ　組積式構造
ニ　モデュラー式構造

21　建築基準法関係法令によれば、建築物における主要構造部に含まれないものはどれか。

イ　庇（ひさし）
ロ　壁
ハ　屋根
ニ　床

22　建築基準法関係法令によれば、建築物に作用する荷重として、適切でないものはどれか。

イ　積載荷重
ロ　積雪荷重
ハ　固定荷重
ニ　吊（つ）り荷重

23　日本産業規格(JIS)によれば、縮尺1：50の立面図に軒の出700と書かれている場合、図面上での寸法として、適切なものはどれか。

イ　70mm
ロ　35mm
ハ　14mm
ニ　 7mm

24　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、スレート、木毛板等の材料で葺かれた屋根の上で作業を行う場合において、踏み抜きにより労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、幅が(　　)cm以上の歩み板を設け、防網を張る等踏み抜きによる労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないと規定されている。

イ　20
ロ　25
ハ　30
ニ　35

［B群（多肢択一法）］

25　労働安全衛生法関係法令における移動はしごに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　幅は、25cm以上とすること。

ロ　すべり止め装置の取付けその他転位を防止するために必要な措置を講ずること。

ハ　材料は、著しい損傷、腐食等がないものとすること。

ニ　丈夫な構造とすること。